

にほんいち すいげん さと
日本一の水源の郷をめざして

どうしむら
道志村

しゅりょう
狩猟

むかし のうりんぎよぎょう
昔からの農林漁業 ①



さんかんち どうしむら むかし のうち たい
山間地の道志村では、昔からわずかな農地を大
せつ 切にしてきました。この農地を守るためや生活
の糧として、狩猟が行われてきました。
えどじだい すでに 17丁の鉄砲所持が代官所
よりゆるされ、現在では狩猟の対象として作物
をあらずシカ、イノシシ、クマなどが許可され
ています。狩猟はおもに鉄砲が主流で、セコと
よ 呼ばれる数名の猟師が、猟犬とともに山地の上
から下へ獲物を追い出します。



タツマと呼ばれる場所で猟師が獲物
を待ち構えてしとめます。鉄砲の他
に、シカケワナやオリがありますが
今は主におとりによるオリが使われ
ています。現在では狩猟の猟期や時
間が限られ、動物の一定の数の保護
をしています。

道志村子ども農山漁村地域協議会 道志村観光協会 〒402-0211 山梨県南都留郡道志村 6894-4

TEL 0554-52-1414 FAX 0554-52-1415 URL <http://doshi-kanko.com>

このリーフレットは、食と地域の交流促進対策交付金から助成を受けて作成しています。

むかし のうりんぎよぎょう
昔からの農林漁業 ①



●ニホンザル
体長約55~60cm 茶色の毛におおわれ、お尻が赤い

どうしむら み どうぶつ
道志村で見られる動物

どうしむら むかし おお どうぶつ ひとひと
道志村では昔から多くの動物が人々と
ともに共存してきました。縄文時代にはシカ、イノシシ、クマ、野鳥などを狩猟して暮らしてきました。農耕用として昭和までウマが飼われていました。ひとひと がい くわ 人々に害を加えたニホンオオカミ、川にいたニホンカワウソはすでに絶滅しました。かわって最近ではハクビシンが現われるようになりました。

どうぶつ あらわ
おもな動物のシルエットを表しました。
大きさを比べてみましょう。



どうぶつ あしあと おお
おもな動物の足跡。大きさを比べてみましょう。



どうしむら どうぶつ あしあと
道志村の動物の足跡

